

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和7年度
------	-------

施設名	新川小学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	33
-----	---------	-----	----	------	----

所管部局	庶務課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 新川町2丁目1番地 (新川小学校区)	敷地面積	38,657 m <sup>2</sup>
		うち借地面積	- m <sup>2</sup>

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	電気室、体育館、プール付属01、プール更衣室、プール付属02、プール管理棟、校舎(南棟)-1、校舎(南棟)-2、校舎(南棟)-3、校舎(北棟)、プール、倉庫01、倉庫02				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和53 ~ 平成24 年度	経過年数	13 ~ 47 年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	9,538 m <sup>2</sup>	うち借用面積	- m <sup>2</sup>
階数(地上)	3 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均利用者数		管理形態			
	746 人		744 人		728 人		739 人		直営			
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 ＋ ②運営コスト 公共サービスを提 供するために要す る経費	内 訳			金額(円)		内 訳			金額(円)			
	収 入	利用料等			－		支 出	①維持 コスト	人件費	－		
		国 費			－				修繕料	3,399,523		
		県 費			－				火災保険料	136,152		
		その他			－				維持管理委託料	3,628,773		
		市費(一般財源)	88,931,691						敷地借上料	－		
	合 計			88,931,691		工事請負費			41,729,600			
						その他維持費			－			
						小 計			48,894,048			
						②運営 コスト		人件費	13,227,737			
								光熱水費	11,410,047			
								その他委託料	1,455,452			
								その他運営費(事業費)	13,944,407			
							小 計	40,037,643				
						合 計(①＋②)			88,931,691			
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3					延床面積1㎡当たりの施設コスト※4						
	120,341 円/人					9,324 円/㎡						
	利用者1人当たりの負担額※5					市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6						
	－ 円/人					1,233 円/人						
特記事項												

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

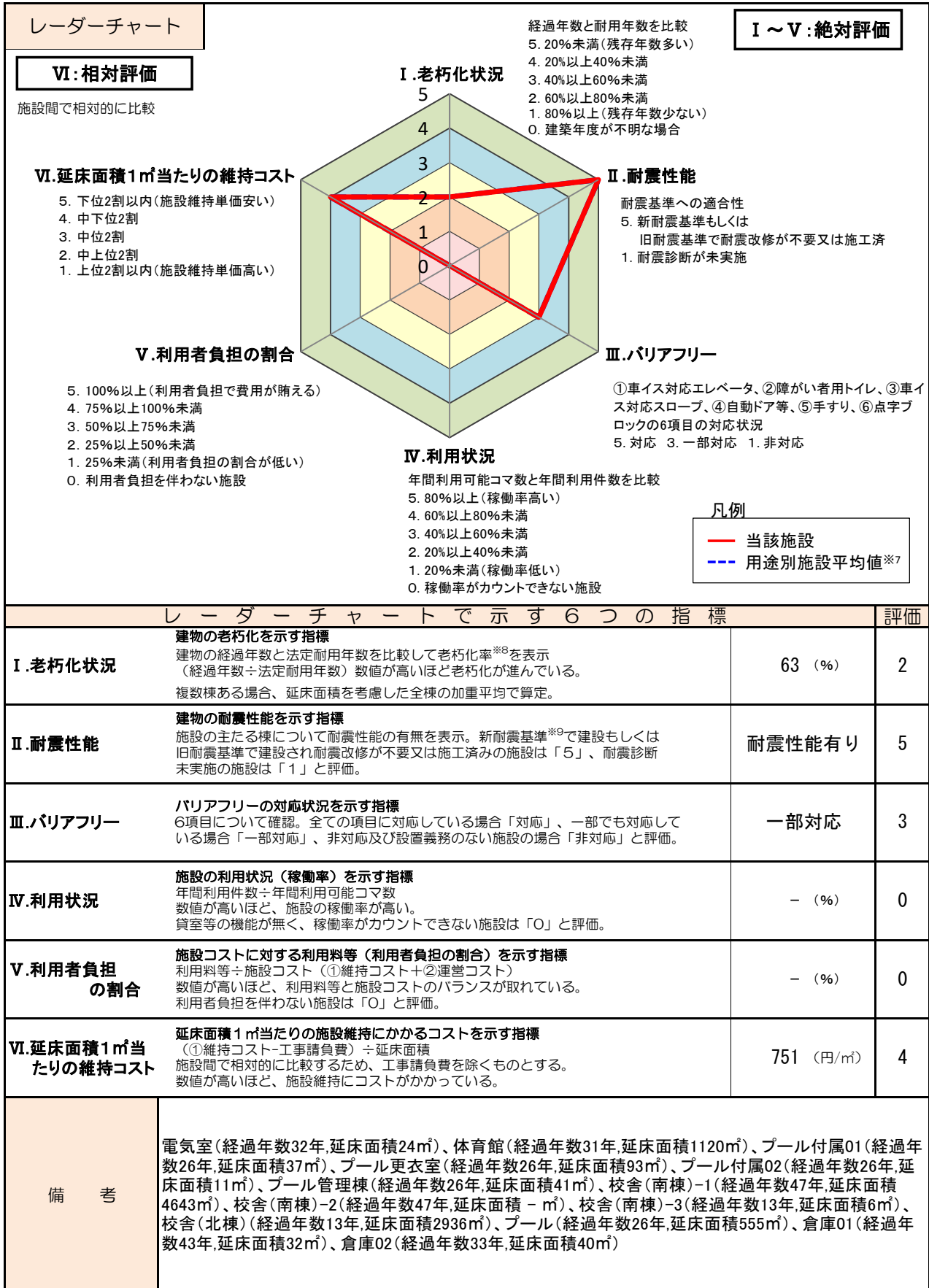
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和7年度
------	-------

施設名	中央小学校
従たる施設の場合、主たる施設名	-

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	34
-----	---------	-----	----	------	----

所管部局	庶務課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 向陽町3丁目19番地 (中央小学校区)	敷地面積	20,714 ㎡
		うち借地面積	- ㎡

2 建物データ（複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。）

構成棟	校舎（北棟）-1、体育館、プール付属棟、用務員室、倉庫01、倉庫02、校舎（南棟）、校舎（北棟）-2、プール				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和51～平成12年度	経過年数	25～49年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	7,022 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数（地上）	3 階	階数（地下）	- 階	避難所指定	指定避難所（事前一時）

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均利用者数		管理形態		
	579 人		606 人		591 人		592 人		直営		
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費  ＋ ②運営コスト 公共サービスを提 供するために要す る経費	内 訳			金額(円)		内 訳			金額(円)		
	収 入	利用料等		-		支 出	①維持 コスト	人件費		-	
		国 費		-				修繕料		3,457,920	
		県 費		-				火災保険料		60,389	
		その他		-				維持管理委託料		2,910,284	
		市費(一般財源)		50,890,970				敷地借上料		231,897	
	合 計		50,890,970		工事請負費			13,725,800			
	施設外観				その他維持費			-			
					小 計			20,386,290			
					②運営 コスト		人件費		8,033,578		
							光熱水費		7,588,291		
							その他委託料		1,499,052		
							その他運営費(事業費)		13,383,759		
					小 計		30,504,680				
					合 計(①+②)		50,890,970				
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3					延床面積1㎡当たりの施設コスト※4					
	85,964 円/人					7,247 円/㎡					
	利用者1人当たりの負担額※5					市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6					
	- 円/人					706 円/人					
特記事項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

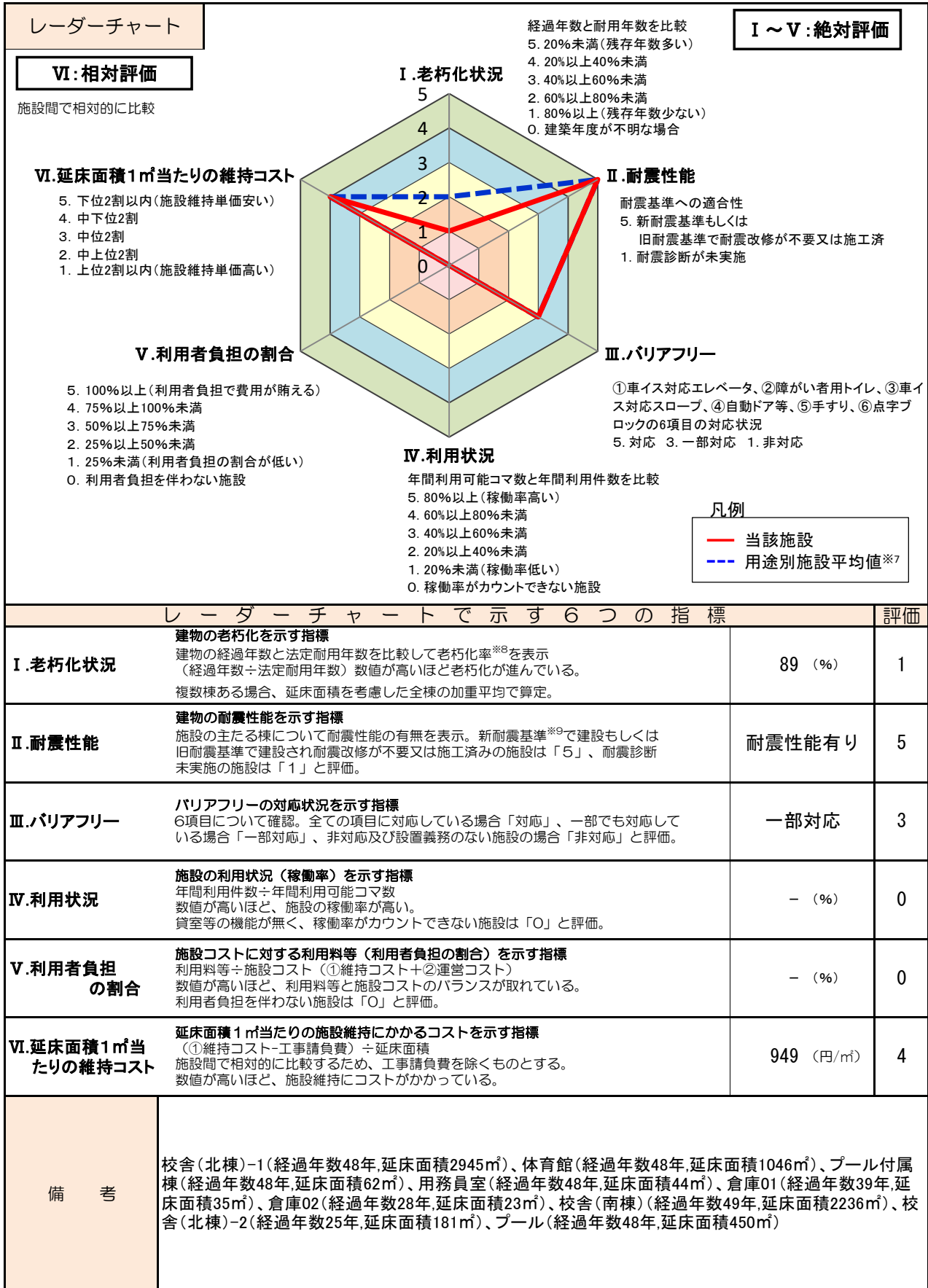
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト（①維持コスト＋②運営コスト）÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト（①維持コスト＋②運営コスト）÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費（一般財源）÷人口（令和7年4月1日現在の72,111人）

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和7年度
------	-------

施設名	大浜小学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	35
-----	---------	-----	----	------	----

所管部局	庶務課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 浜田町1丁目1番地 (大浜小学校区)	敷地面積	26,995 ㎡
		うち借地面積	- ㎡

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	配膳室、校舎(南館)、倉庫01、屋外倉庫便所、プール附属棟、機械室、体育館、校舎(北館)、プール				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和54～平成23年度	経過年数	14～46年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	7,984 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	3階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均利用者数		管理形態		
	592 人		588 人		580 人		587 人		直営		
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 ＋ ②運営コスト 公共サービスを提 供するために要す る経費	内 訳			金額(円)		内 訳			金額(円)		
	収 入	利用料等		-		支 出	①維持 コスト	人件費		-	
		国 費		-				修繕料		3,252,833	
		県 費		-				火災保険料		123,966	
		その他		-				維持管理委託料		2,998,840	
		市費(一般財源)		43,669,580				敷地借上料		-	
	合 計		43,669,580		工事請負費			1,862,667			
	施設外観				その他維持費			-			
					小 計			8,238,306			
					②運営 コスト		人件費		8,489,743		
							光熱水費		11,954,332		
							その他委託料		1,469,452		
							その他運営費(事業費)		13,517,747		
						小 計		35,431,274			
					合 計(①+②)		43,669,580				
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3					延床面積1㎡当たりの施設コスト※4					
	74,395 円/人					5,470 円/㎡					
	利用者1人当たりの負担額※5					市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6					
	- 円/人					606 円/人					
特記事項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト＋②運営コスト)÷平均利用者数

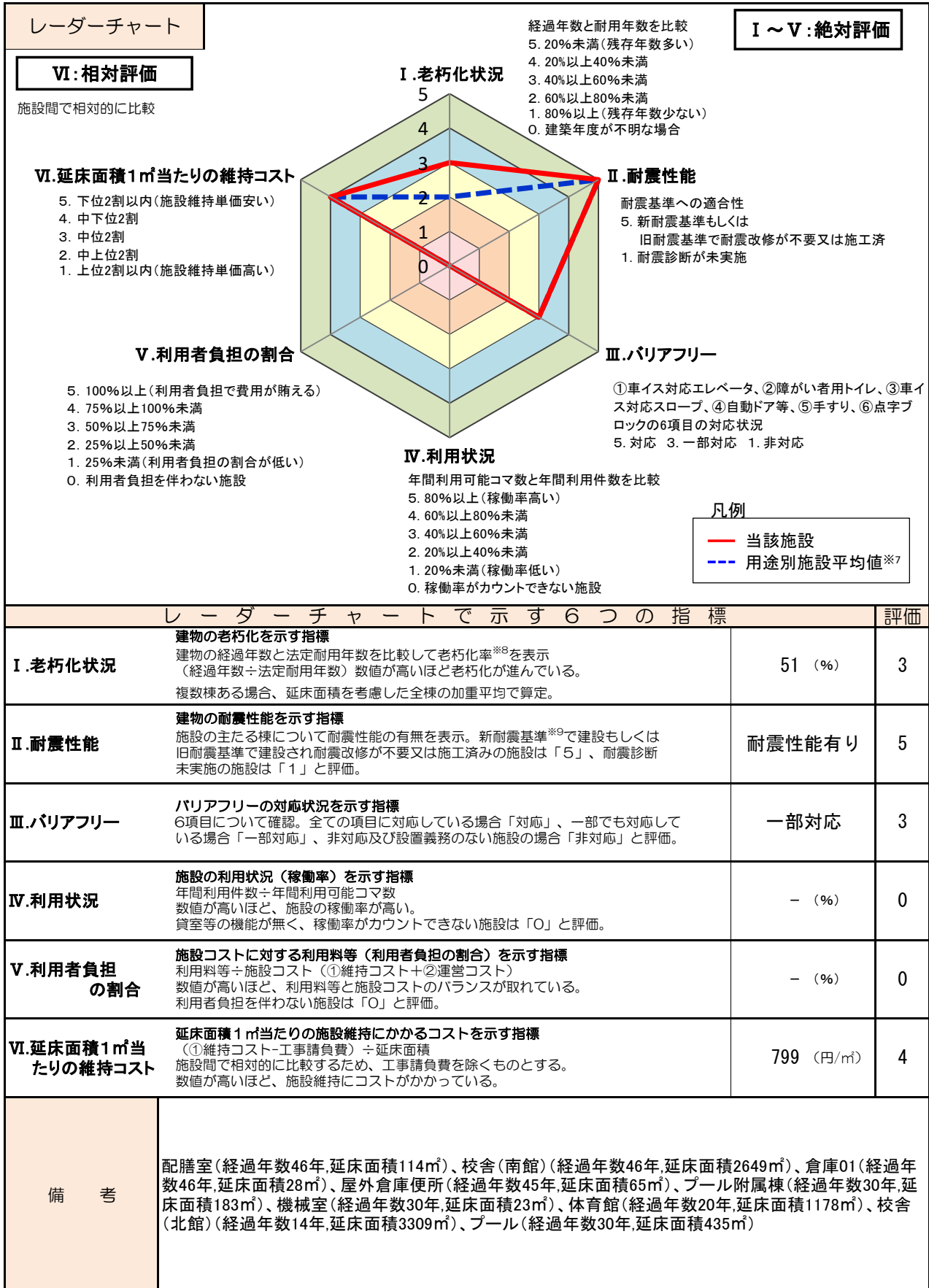
※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト＋②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)



#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和7年度
------	-------

施設名	棚尾小学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	36
-----	---------	-----	----	------	----

所管部局	庶務課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 春日町1丁目5番地 ( 棚尾小学校区 )	敷地面積	20,807 m <sup>2</sup>
		うち借地面積	597 m <sup>2</sup>

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	校舎(北館)、プール付属室、プール機械室01、プール機械室02、校舎(本館)、屋外便所、体育館、プール				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和55～平成21年度	経過年数	16～45年	総取得費	-千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	7,882 m <sup>2</sup>	うち借用面積	- m <sup>2</sup>
階数(地上)	3階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均利用者数		管理形態				
	619 人		613 人		610 人		614 人		直営				
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費  ＋ ②運営コスト 公共サービスを提 供するために要す る経費	内 訳			金額(円)		内 訳			金額(円)				
	収  入	利用料等				-		支  出	①維持 コスト	人件費		-	
		国 費				-				修繕料		2,323,633	
		県 費				-				火災保険料		119,073	
		その他				-				維持管理委託料		2,998,840	
		市費(一般財源)				74,820,980				敷地借上料		603,467	
	合 計				74,820,980		工事請負費			34,971,567			
	施設外観						その他維持費			-			
							小 計			41,016,580			
							②運営 コスト	人件費		7,769,375			
								光熱水費		10,728,468			
								その他委託料		1,425,986			
								その他運営費(事業費)		13,880,571			
							小 計		33,804,400				
							合 計(①+②)		74,820,980				
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3					延床面積1㎡当たりの施設コスト※4							
	121,858 円/人					9,493 円/㎡							
	利用者1人当たりの負担額※5					市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6							
	- 円/人					1,038 円/人							
特記事項													

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

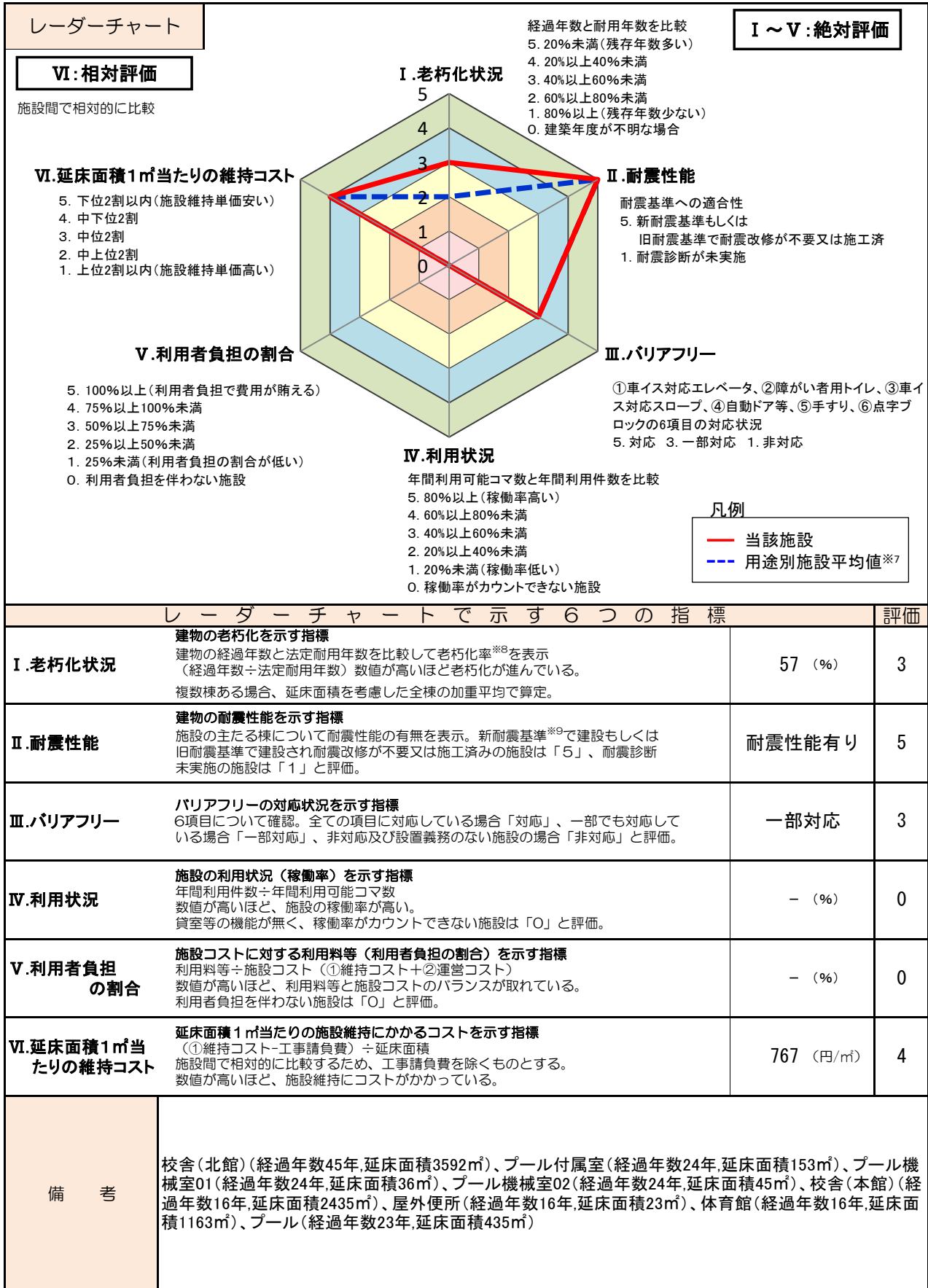
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト＋②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト＋②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。



碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和7年度
------	-------

施設名	日進小学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	37
-----	---------	-----	----	------	----

所管部局	庶務課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 日進町4丁目1番地 (日進小学校区)	敷地面積	20,199 ㎡
		うち借地面積	- ㎡

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	校舎(本館)-1、校舎(本館)-2、体育館、体育館増築部分、プール機械室、プール付属室、ポンプ室、倉庫01、校舎(新館)、プール				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和47～平成14年度	経過年数	23～53年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	5,997 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	3 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

3 管理運営データ

利用状況※1		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均利用者数		管理形態						
		354 人		353 人		329 人		345 人		直営						
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 ＋ ②運営コスト 公共サービスを提 供するために要す る経費		内 訳			金額（円）			内 訳			金額（円）					
		収 入	利用料等			-			支 出	①維持コスト	人件費			-		
			国 費			-					修繕料			1,980,243		
			県 費			-					火災保険料			49,273		
			その他			-					維持管理委託料			2,998,840		
			市費（一般財源）			58,559,147					敷地借上料			-		
		合 計			58,559,147			工事請負費			26,811,270					
								その他維持費			-					
								小 計			31,839,626					
								②運営コスト		人件費			2,771,801			
						光熱水費				9,483,969						
						その他委託料			1,492,441							
						その他運営費（事業費）			12,971,310							
						小 計			26,719,521							
						合 計（①＋②）			58,559,147							
コスト状況		利用者 1 人当たりの施設コスト※3						延床面積 1㎡当たりの施設コスト※4								
		169,737 円/人						9,765 円/㎡								
		利用者 1 人当たりの負担額※5						市費に対する住民 1 人当たりの負担相当額※6								
		- 円/人						812 円/人								
特 記 事 項																

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

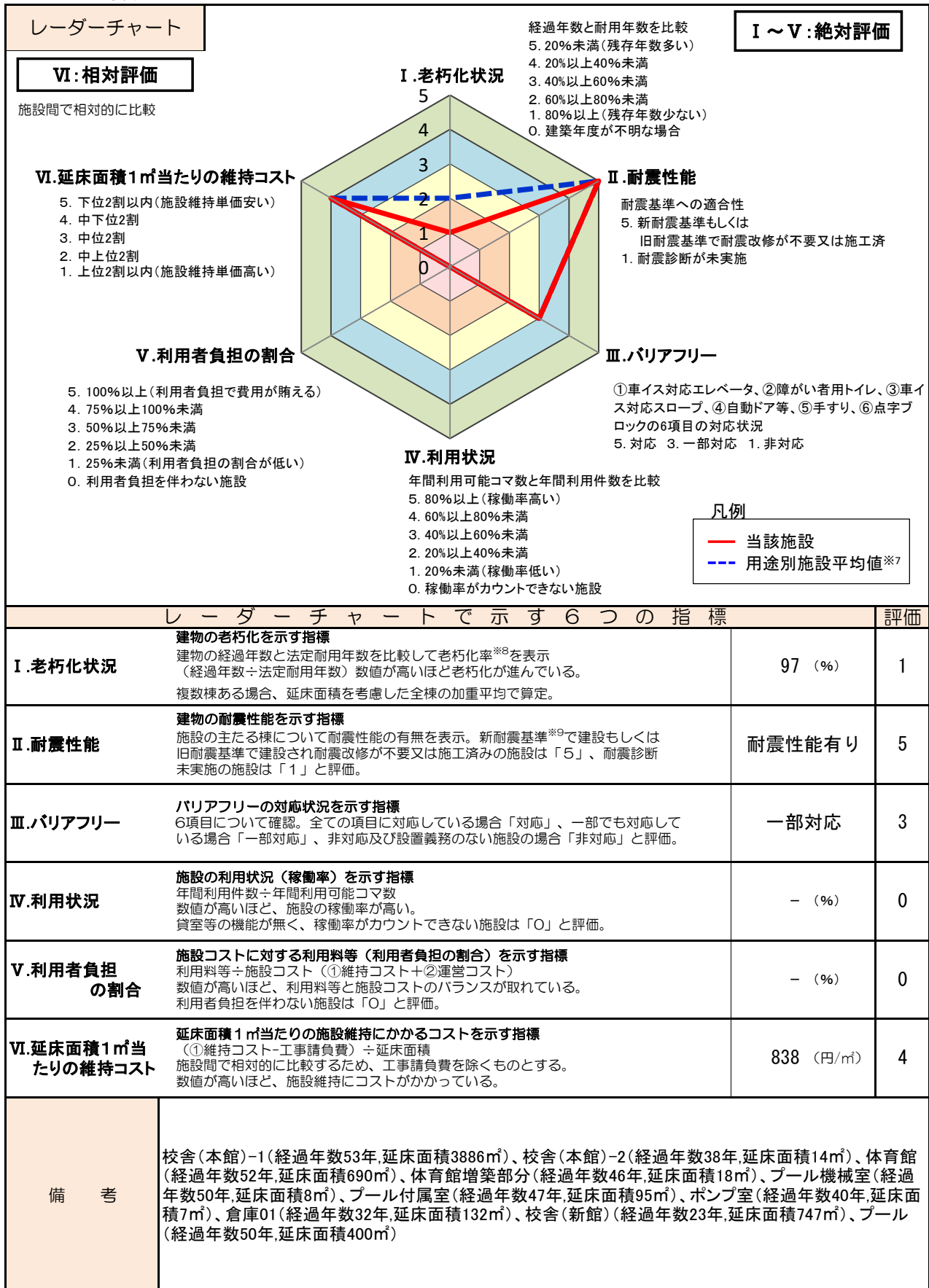
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト＋②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト＋②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和7年度
------	-------

施設名	鷺塚小学校
従たる施設の場合、主たる施設名	-

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	38
-----	---------	-----	----	------	----

所管部局	庶務課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 旭町2丁目10番地 ( 鷺塚小学校区 )	敷地面積	21,675 m <sup>2</sup>
		うち借地面積	1,246 m <sup>2</sup>

2 建物データ（複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。）

構成棟	プール付属室、校舎(2棟)、体育館、校舎(3棟)、倉庫01、倉庫02、倉庫03、校舎(1棟)、プール				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和48～平成25年度	経過年数	12～52年	総取得費	-千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	8,534 m <sup>2</sup>	うち借用面積	- m <sup>2</sup>
階数(地上)	3階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均利用者数		管理形態		
	641 人		617 人		636 人		631 人		直営		
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 ＋ ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する経費	内 訳			金額(円)		内 訳			金額(円)		
	収 入	利用料等		-		支 出	①維持コスト	人件費		-	
		国 費		-				修繕料		3,642,817	
		県 費		-				火災保険料		91,905	
		その他		-				維持管理委託料		3,868,940	
		市費(一般財源)		45,493,551				敷地借上料		1,442,690	
	合 計		45,493,551		工事請負費			11,000			
	施設外観				その他維持費			-			
					小 計		9,057,352				
					②運営コスト		人件費		11,400,992		
							光熱水費		9,864,976		
							その他委託料		1,488,779		
							その他運営費(事業費)		13,681,452		
							小 計		36,436,199		
					合 計(①+②)		45,493,551				
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3					延床面積1㎡当たりの施設コスト※4					
	72,098 円/人					5,331 円/㎡					
	利用者1人当たりの負担額※5					市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6					
	- 円/人					631 円/人					
特記事項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

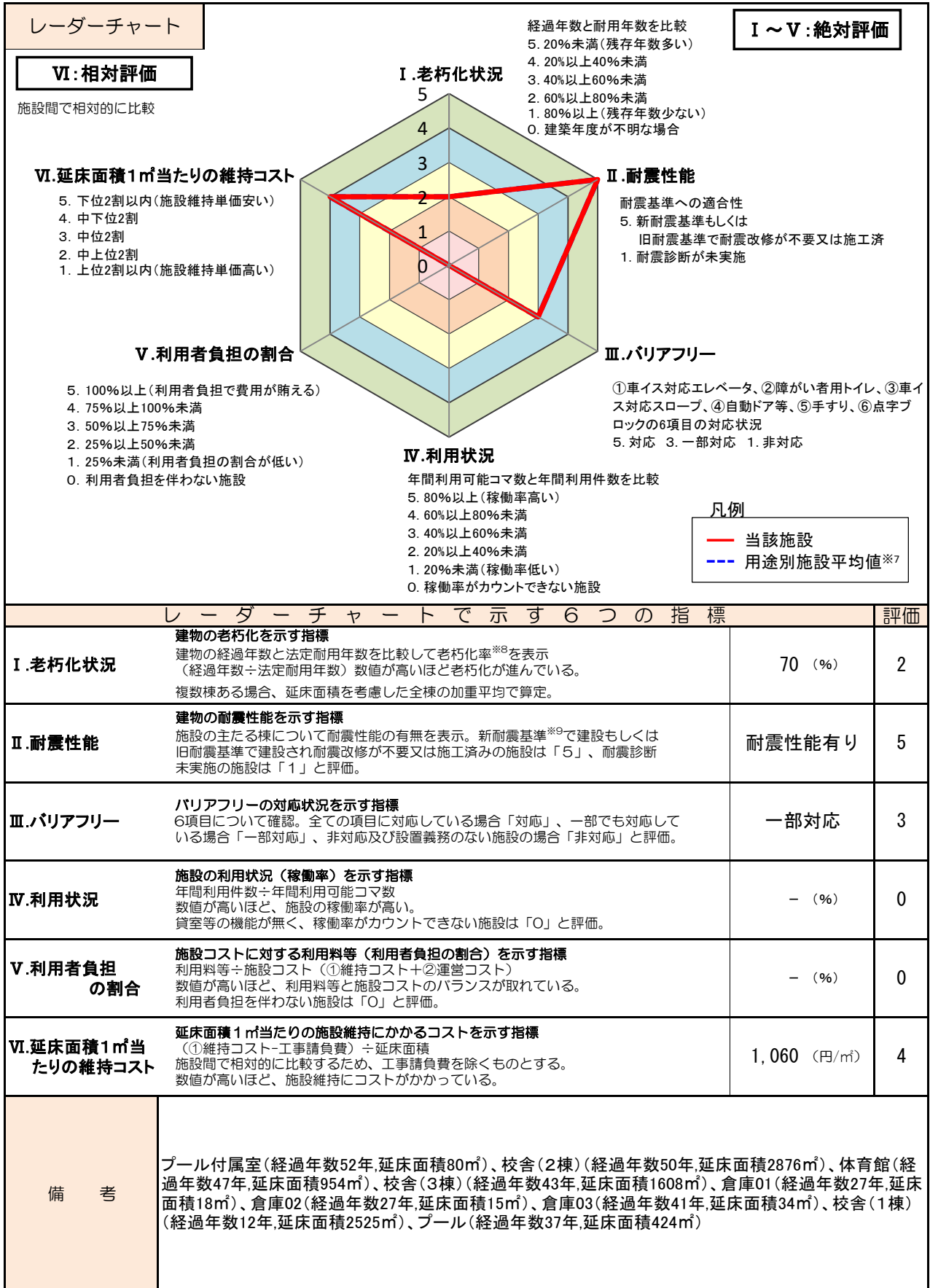
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト（①維持コスト＋②運営コスト）÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト（①維持コスト＋②運営コスト）÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費（一般財源）÷人口（令和7年4月1日現在の72,111人）

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和7年度
------	-------

施設名	西端小学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	39
-----	---------	-----	----	------	----

所管部局	庶務課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 上町3丁目1番地 (西端小学校区)	敷地面積	21,475 ㎡
		うち借地面積	- ㎡

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	体育館、校舎(北館)-1、校舎(北館)-2、プール附属室02、プール付属室01、校舎(本館)-1、校舎(本館)-2、プール				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和47～平成17年度	経過年数	20～53年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	6,589 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	4 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均利用者数		管理形態		
	420 人		397 人		398 人		405 人		直営		
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 ＋ ②運営コスト 公共サービスを提 供するために要す る経費	内 訳			金額（円）		内 訳			金額（円）		
	収 入	利用料等			－		支 出	①維持 コスト	人件費	－	
		国 費			－				修繕料	1,847,156	
		県 費			－				火災保険料	61,868	
		その他			－				維持管理委託料	2,998,840	
		市費（一般財源）			37,497,960				敷地借上料	－	
	合 計				37,497,960				工事請負費	11,000	
									その他維持費	－	
								小 計		4,918,864	
								②運営 コスト	人件費	8,477,369	
									光熱水費	9,704,159	
									その他委託料	1,483,078	
									その他運営費（事業費）	12,914,490	
									小 計		32,579,096
								合 計（①＋②）		37,497,960	
コスト状況	利用者 1 人当たりの施設コスト※3					延床面積 1 ㎡当たりの施設コスト※4					
	92, 588 円/人					5, 691 円/㎡					
	利用者 1 人当たりの負担額※5					市費に対する住民 1 人当たりの負担相当額※6					
	－ 円/人					520 円/人					
特 記 事 項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト＋②運営コスト)÷平均利用者数

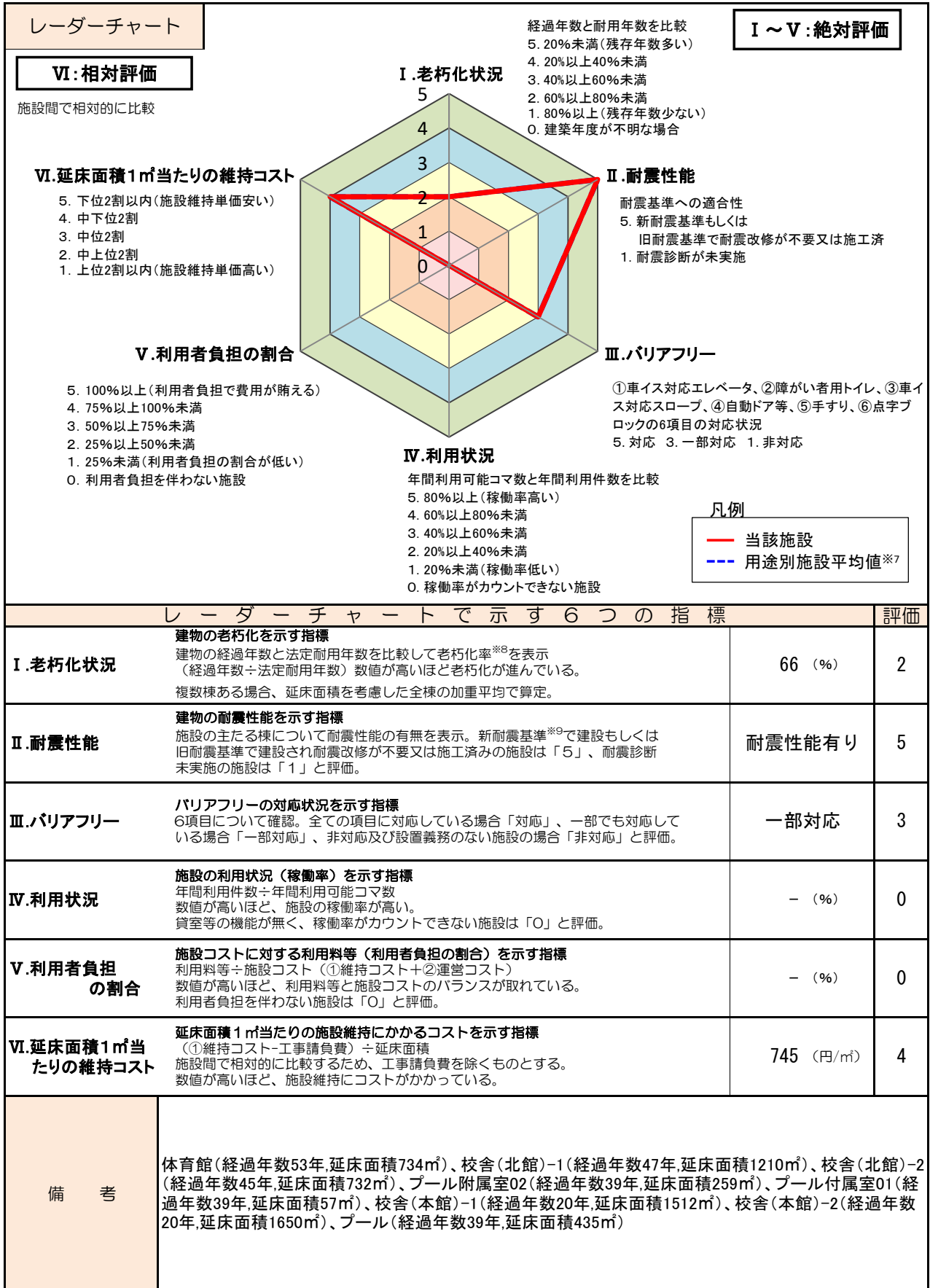
※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト＋②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)



#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和7年度
------	-------

施設名	新川中学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	40
-----	---------	-----	----	------	----

所管部局	庶務課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 新川町1丁目1番地 (新川小学校区)	敷地面積	26,480 ㎡
		うち借地面積	- ㎡

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	校舎(本館)、プール管理棟、部室02、窯業室、柔剣道場・卓球場、校舎(特別教室棟)、体育館、器具庫、部室01、プール				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和56 ~ 平成14 年度	経過年数	23 ~ 44 年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	9,385 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	4 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均利用者数		管理形態		
	429 人		396 人		386 人		404 人		直営		
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費  ＋ ②運営コスト 公共サービスを提 供するために要す る経費	内 訳			金額(円)		内 訳			金額(円)		
	収  入	利用料等		-		支  出	①維持 コスト	人件費		-	
		国 費		-				修繕料		1,873,459	
		県 費		-				火災保険料		142,400	
		その他		-				維持管理委託料		2,851,291	
		市費(一般財源)		41,873,394				敷地借上料		-	
	合 計		41,873,394		工事請負費			9,130,733			
	施設外観				その他維持費			-			
					小 計			13,997,883			
					②運営 コスト		人件費		2,902,406		
							光熱水費		9,944,015		
							その他委託料		1,441,589		
							その他運営費(事業費)		13,587,501		
					小 計		27,875,511				
					合 計(①+②)		41,873,394				
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3					延床面積1㎡当たりの施設コスト※4					
	103,647 円/人					4,462 円/㎡					
	利用者1人当たりの負担額※5					市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6					
	- 円/人					581 円/人					
特記事項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

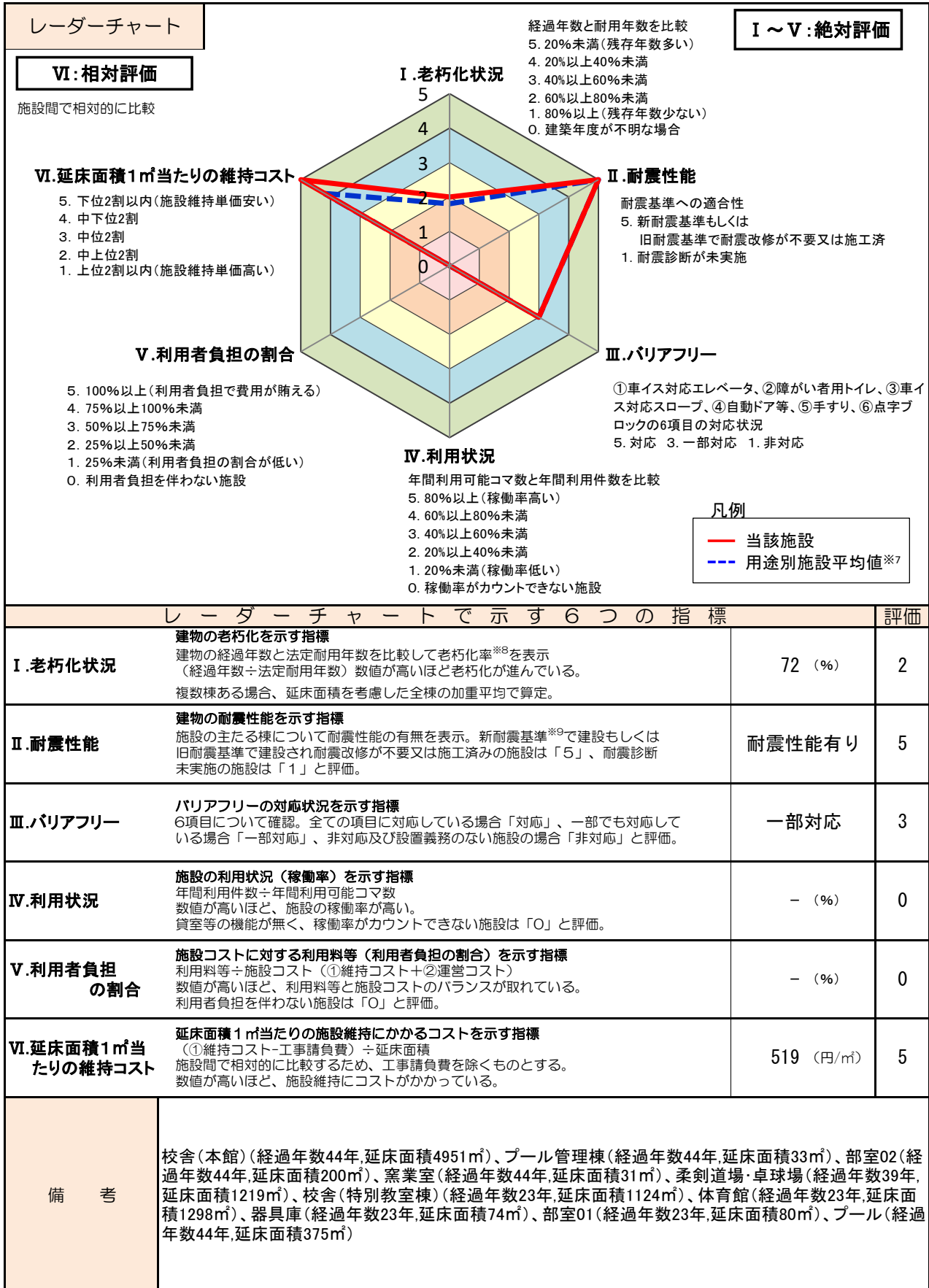
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和7年度
------	-------

施設名	中央中学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	41
-----	---------	-----	----	------	----

所管部局	庶務課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 植出町5丁目2番地 (中央小学校区)	敷地面積	23,031 ㎡
		うち借地面積	- ㎡

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	校舎(本館)-1、校舎(本館)-2、校舎(本館)-3、体育館、部室01、部室02、渡り廊下、プール付属棟01、プール付属棟02、部室03、プール付属棟03、ボイラー室、プロパン庫、プール				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和59 ~ 平成12 年度	経過年数	25 ~ 41 年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	8,529 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	4 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均利用者数		管理形態		
	293 人		282 人		289 人		288 人		直営		
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費  ＋ ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する経費	内 訳			金額（円）		内 訳			金額（円）		
	収  入	利用料等		－		支  出	①維持 コスト	人件費		－	
		国 費		－				修繕料		2,808,729	
		県 費		－				火災保険料		156,888	
		その他		－				維持管理委託料		2,838,980	
		市費（一般財源）		40,911,534				敷地借上料		－	
	合 計		40,911,534		工事請負費			11,283,800			
					その他維持費			－			
					小 計			17,088,397			
					②運営 コスト		人件費		2,755,095		
							光熱水費		6,595,422		
							その他委託料		1,419,256		
							その他運営費（事業費）		13,053,364		
						小 計		23,823,137			
					合 計（①＋②）		40,911,534				
コスト状況	利用者 1 人当たりの施設コスト※3					延床面積 1 ㎡当たりの施設コスト※4					
	142,054 円/人					4,797 円/㎡					
	利用者 1 人当たりの負担額※5					市費に対する住民 1 人当たりの負担相当額※6					
	－ 円/人					567 円/人					
特 記 事 項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

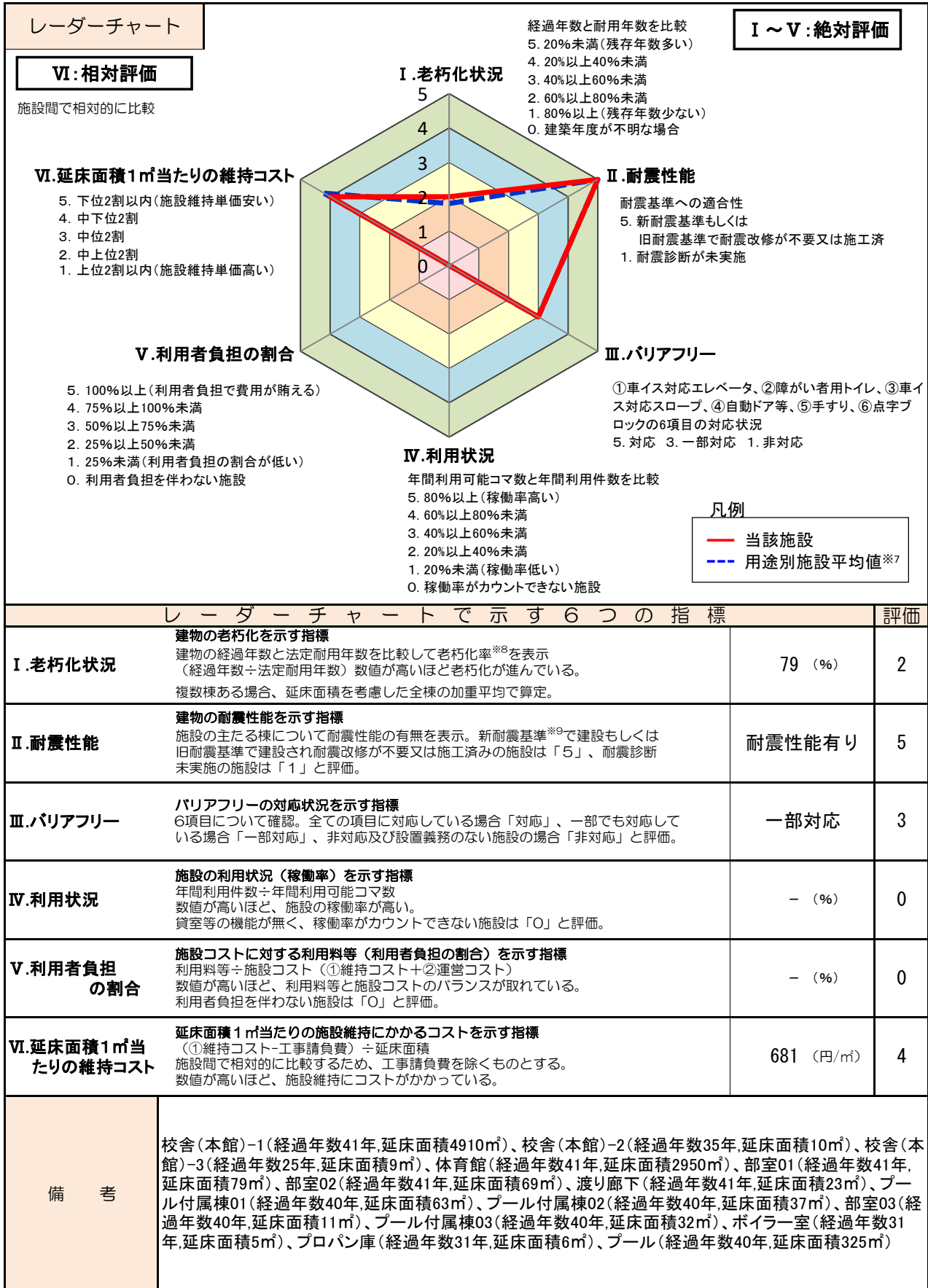
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。



碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和7年度
------	-------

施設名	南中学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	42
-----	---------	-----	----	------	----

所管部局	庶務課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 春日町1丁目1番地 ( 棚尾小学校区 )	敷地面積	26,421 m <sup>2</sup>
		うち借地面積	- m <sup>2</sup>

2 建物データ（複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。）

構成棟	便所、プール付属棟01、校舎（本館北棟）、配膳屋棟、部室01、体育館、部室02、渡り廊下、部室03、校舎（北館）、プール付属棟02、校舎（特別館）、校舎（配膳室）、本館、プール				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和43～平成27年度	経過年数	10～57年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	10,679 m <sup>2</sup>	うち借用面積	- m <sup>2</sup>
階数（地上）	3 階	階数（地下）	- 階	避難所指定	指定避難所（事前一時）

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均利用者数		管理形態		
	644 人		644 人		640 人		643 人		直営		
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費  ＋ ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する経費	内 訳			金額(円)		内 訳			金額(円)		
	収 入	利用料等		-		支 出	①維持コスト	人件費		-	
		国 費		-				修繕料		2,697,996	
		県 費		-				火災保険料		176,674	
		その他		-				維持管理委託料		2,741,291	
		市費(一般財源)		40,555,253				敷地借上料		-	
	合 計		40,555,253		工事請負費			1,312,667			
	施設外観				その他維持費			-			
					小 計			6,928,628			
					②運営コスト		人件費		4,438,427		
							光熱水費		11,866,786		
							その他委託料		2,721,923		
							その他運営費(事業費)		14,599,489		
					小 計		33,626,625				
					合 計(①+②)		40,555,253				
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3					延床面積1㎡当たりの施設コスト※4					
	63,072 円/人					3,798 円/㎡					
	利用者1人当たりの負担額※5					市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6					
	- 円/人					562 円/人					
特記事項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

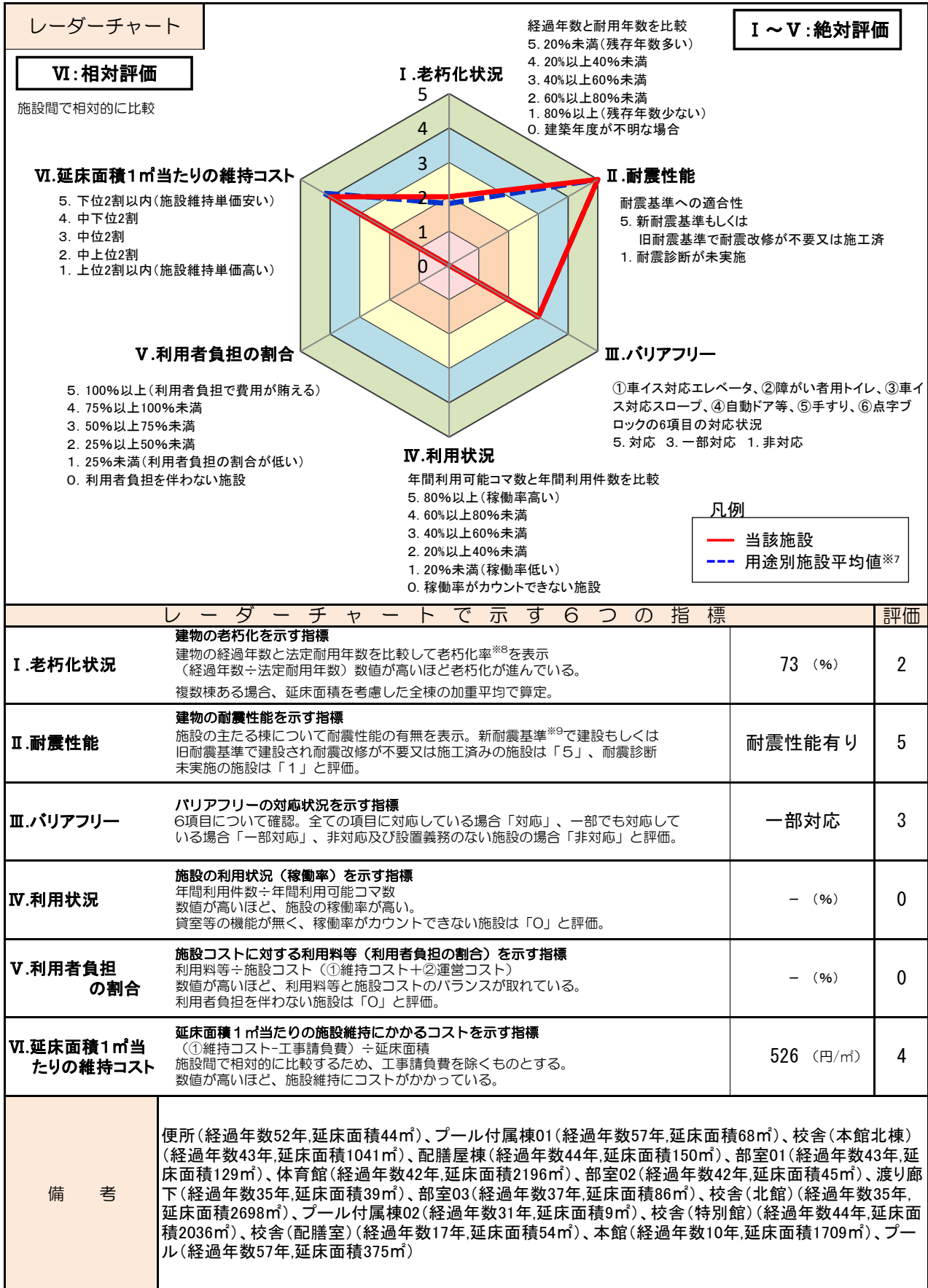
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト（①維持コスト＋②運営コスト）÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト（①維持コスト＋②運営コスト）÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費（一般財源）÷人口（令和7年4月1日現在の72,111人）

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値:施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率:建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準:昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和7年度
------	-------

施設名	東中学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	43
-----	---------	-----	----	------	----

所管部局	庶務課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 天神町2丁目11番地1 ( 鷺塚小学校区 )	敷地面積	30,042 ㎡
		うち借地面積	- ㎡

2 建物データ（複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。）

構成棟	校舎（北棟）、機械室、体育器具庫、校舎（南棟別館）、体育館、クラブハウス、便所、柔剣道場、卓球場、プール管理棟01、プール管理棟02、プール管理棟03、電気室、校舎（南棟）、プール				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和52～平成9年度	経過年数	28～48年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	9,068 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数（地上）	4 階	階数（地下）	- 階	避難所指定	指定避難所（事前一時）

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均利用者数		管理形態		
	474 人		506 人		492 人		491 人		直営		
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 ＋ ②運営コスト 公共サービスを提 供するために要す る経費	内 訳			金額（円）		内 訳			金額（円）		
	収 入	利用料等		-		支 出	①維持 コスト	人件費		-	
		国 費		-				修繕料		2,484,075	
		県 費		-				火災保険料		150,836	
		その他		-				維持管理委託料		2,741,291	
		市費（一般財源）		42,968,919				敷地借上料		-	
	合 計		42,968,919		工事請負費			5,210,187			
	施設外観				その他維持費			-			
					小 計			10,586,389			
					②運営 コスト		人件費		2,556,004		
							光熱水費		10,672,385		
							その他委託料		4,026,846		
							その他運営費（事業費）		15,127,295		
					小 計		32,382,530				
					合 計（①＋②）		42,968,919				
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3					延床面積1㎡当たりの施設コスト※4					
	87,513 円/人					4,739 円/㎡					
	利用者1人当たりの負担額※5					市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6					
	- 円/人					596 円/人					
特記事項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

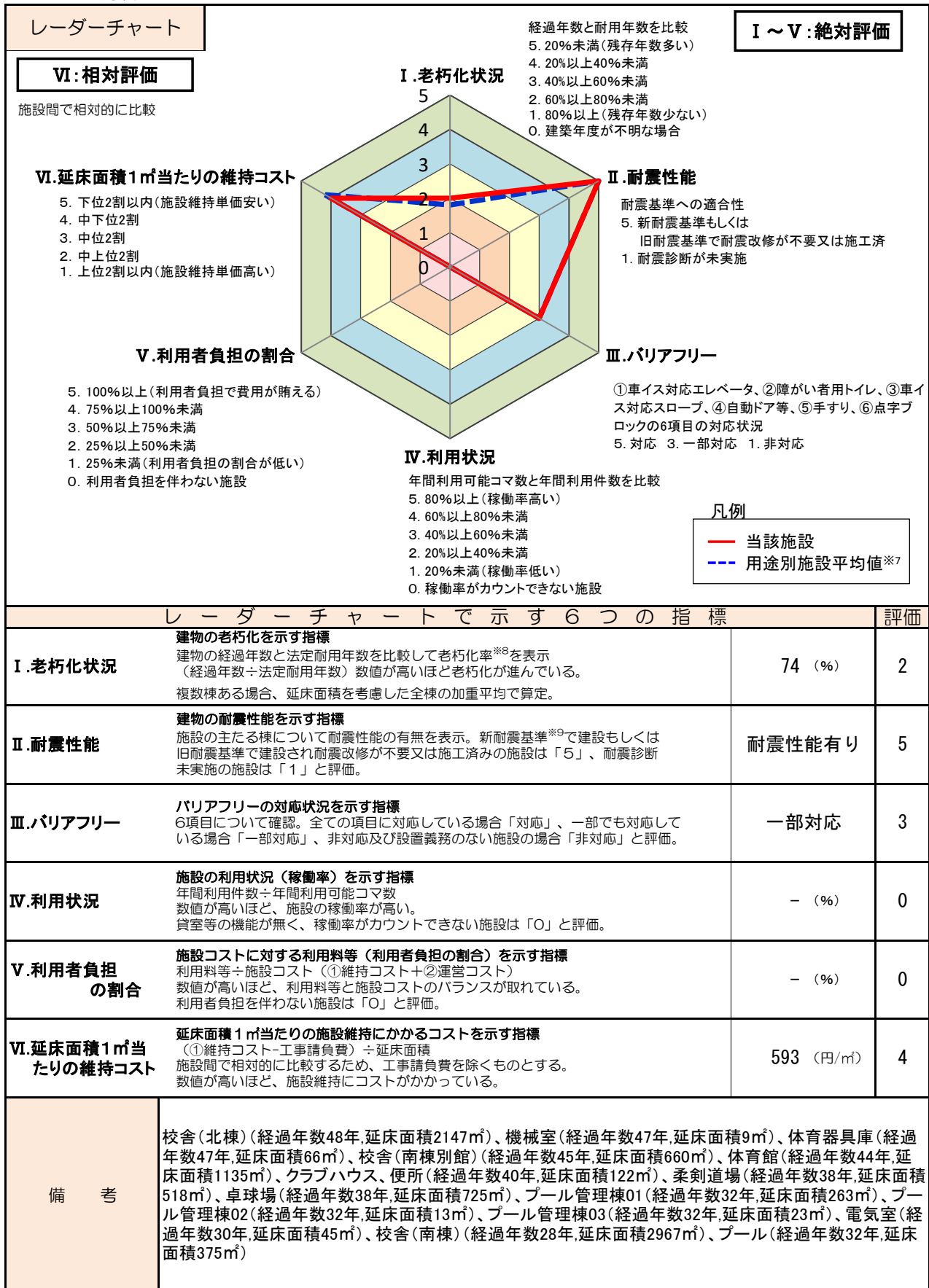
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト（①維持コスト＋②運営コスト）÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト（①維持コスト＋②運営コスト）÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費（一般財源）÷人口（令和7年4月1日現在の72,111人）

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和7年度
------	-------

施設名	西端中学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	44
-----	---------	-----	----	------	----

所管部局	庶務課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 神田町3丁目10番地 (西端小学校区)	敷地面積	22,845 m <sup>2</sup>
		うち借地面積	- m <sup>2</sup>

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	校舎(北棟)、体育館、ホール01、プール管理棟、部室、倉庫01、柔剣道場、卓球場、ホール02、校舎(南棟)、渡り廊下、プール				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和55～昭和63年度	経過年数	37～45年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	7,292 m <sup>2</sup>	うち借用面積	- m <sup>2</sup>
階数(地上)	3階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均利用者数		管理形態		
	214 人		202 人		197 人		204 人		直営		
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 ＋ ②運営コスト 公共サービスを提 供するために要す る経費	内 訳			金額(円)		内 訳			金額(円)		
	収  入	利用料等		-		支  出	①維持 コスト	人件費		-	
		国 費		-				修繕料		2,571,959	
		県 費		-				火災保険料		70,684	
		その他		-				維持管理委託料		2,838,980	
		市費(一般財源)		35,397,768				敷地借上料		-	
	合 計		35,397,768		工事請負費			6,058,433			
	施設外観				その他維持費			-			
					小 計			11,540,056			
					②運営 コスト		人件費		2,852,002		
							光熱水費		6,168,472		
							その他委託料		1,832,589		
							その他運営費(事業費)		13,004,649		
					小 計		23,857,712				
					合 計(①+②)		35,397,768				
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3					延床面積1㎡当たりの施設コスト※4					
	173,518 円/人					4,854 円/㎡					
	利用者1人当たりの負担額※5					市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6					
	- 円/人					491 円/人					
特記事項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト＋②運営コスト)÷平均利用者数

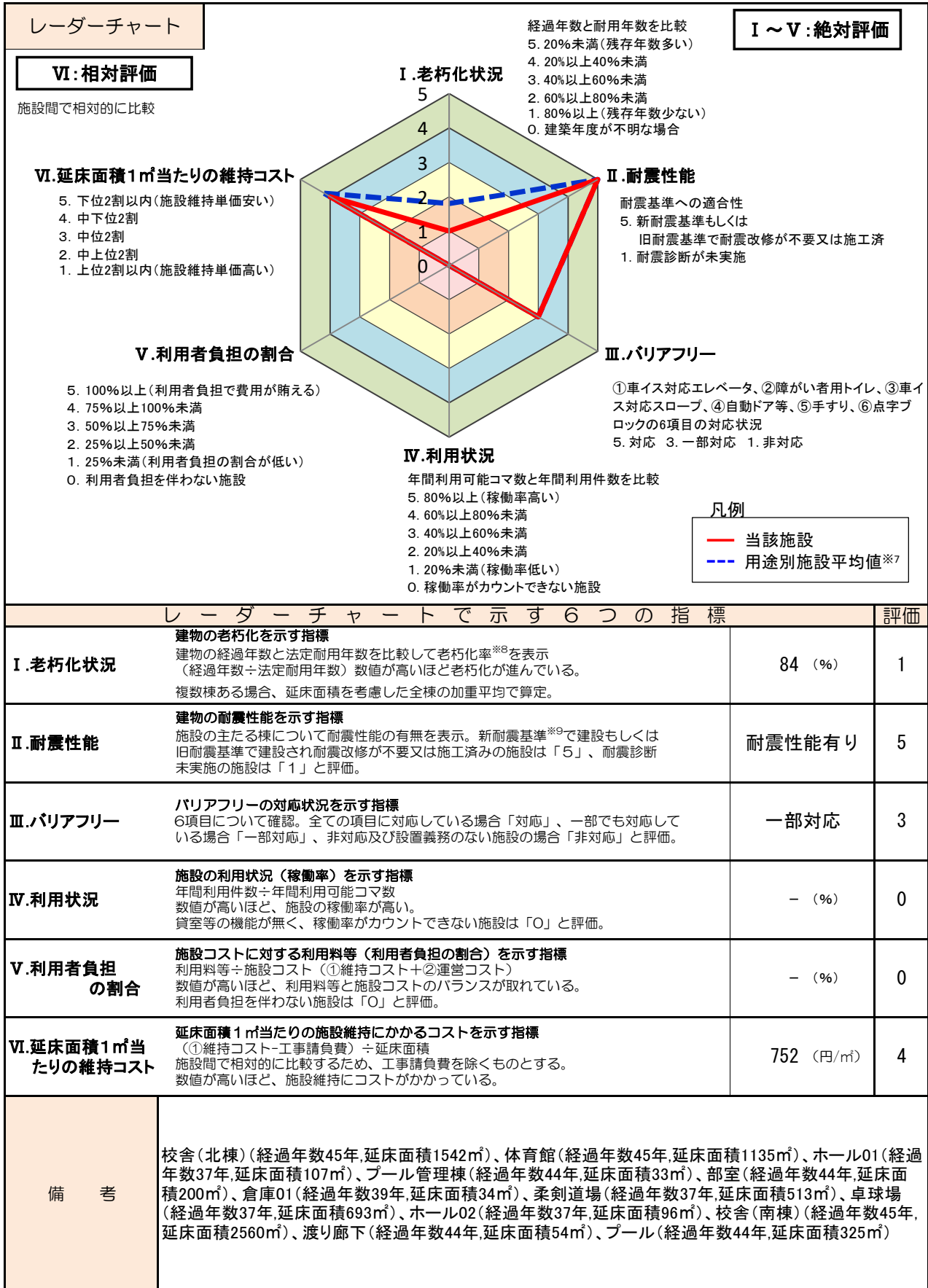
※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト＋②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)



#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。